

仙台藝術舎/creek 修了展

「2056」

「仙台藝術舎/creek」は、次世代のアーティストやアートに携わる人を育てる学校として2016年に開校しました。10か月に渡り、美術家、美術批評家、キュレーター等を迎え、講義やワークショップなどを通して、同時代の多様な表現を学んでいます。今期（第3期）は、アーティストや、アートについて学びたい学生、会社員、教師、デザイナー、医師など15名が受講しており、その受講生による修了展「2056」を以下の通り開催します。平面、立体、映像、パフォーマンスなどの表現方法を用いて、個性豊かな面々がアートという一点で繋がり、集まって作り上げるグループ展です。

展覧会情報

展覧会名	「2056」
出展者	阿部悠、柿澤弘枝、菅野光子、斉藤真由子、佐々瞬、佐立りり子、菅井啓汰、玉井裕也、中島優理、樋口健介、増子瑞姫
出展作品	平面、立体、映像、パフォーマンス など
日時	2019年3月19日（火）～3月24日（日） 11:00～19:30、初日は19:00迄、最終日は17:00迄 ※3/19（火）19:00～、講師による講評会を行います 講評会は一般に公開しますが、参加には予約が必要です
会場	Gallery TURNAROUND 宮城県仙台市青葉区大手町6-22 久光ビル1階 (地下鉄東西線「大町西公園駅」より徒歩5分)
お問い合わせ先・ 講評会予約先	Tel: 022-398-6413 (Gallery TURNAROUND 内) Email: info@turn-around.jp

ステートメント

1982年から1990年にかけて連載され、1988年には映画化もされた、大友克洋のサイエンスフィクションマンガ「AKIRA」は時代背景を2019年に設定されています。その舞台、ネオ東京では、2020年のオリンピックにおけるスタジアムが建設中です。まさに現在の日本と重なる部分です。さて、AKIRAでは東京は過去に破壊されており旧市街、廃墟として描かれます。そして新都市ネオ東京も大混乱のなか廃墟と化していくわけですが、鉄腕アトムなどに登場する1960年代の未来像は違い、AKIRAで描かれる未来はディストピアです。あるいは同じくディストピアとしての未来を描き、サイバーパンクの潮流を生んだ映画「ブレードランナー」は2019年のロサンゼルスが舞台です。これらの作品が示すように、科学技術に頼んだ進歩史観が限界に来ていることはすでに物語として予見されています。また、わたしたちは震災によってそのことを反省的に実感しました。いずれにしても、小説としてのサイエンスフィクションの隆盛は過ぎ、それらを題材に映像化すると

いうブームも CG の一般化とともに終わりました。結果的に、サイエンスフィクションは物語の消費形態としてパターン化し、近未来を描くことで現代への警鐘と成すことを真剣に考えた表現は無くなっていると言えるでしょう。では、あえて、それに挑戦してみましょう。目前のお祭りに未来への期待を込めるのではなく、現在の批評として未来を描き出します。今回は、AKIRA と同じ 37 年後の設定で、2056 年の世界をあらわします。

仙台藝術舎/creek とは

東日本大震災以後、私たちは混迷する社会を目の当たりにし、それに翻弄されてきました。この行き詰った資本主義社会の中で、私たちは教育から排除されつつある藝術を糧に闘っていかねばならないのです。

21 世紀の新たな価値観のもと、藝術表現が現実の社会のまえに疲弊し、消費されることに抗いながら、その真の意味を発揮し生き抜いていくために「仙台藝術舎/creek」をここに創立しました。

「creek」には「川、流れ、支流」という意味があります。「いくつもの支流が合わさり本流を形成する」ように、「仙台・宮城から生まれる新たな表現・表現者が支流を作り、それらがやがて本流と成り得る」という思いを込めています。

現在の社会の中で藝術の教育環境を共創するという試みは、実験的であり挑戦的だと考えます。しかし同時に、必ずやこの支流が大きな流れとなって仙台にたゆたうであろうことを確信しています。

仙台藝術舎/creek 第 3 期

受講期間	2018 年 6 月～2019 年 3 月
定員	15 名程度
講座回数	全 32 回程度（講義／ワークショップ／展覧会）
講師	<p>青野文昭（美術家） 「ここで表現活動をするにあたっての様々な話し・思索」</p> <p>五十嵐太郎（建築史・建築批評家/東北大学教授） 「日本の論客をとりあげ、美術論の断面を知る」</p> <p>清水建人（せんだいメディアテーク学芸員） 「作品や展覧会から平成を考える」</p> <p>小岩勉（写真家） 「意味の組み換えとしての写真集の魅力」</p> <p>※その他特別講師による講義が数回入ります。</p>
年間スケジュール	6 月：開講 12 月：課題発表・講評 3 月：修了展



問い合わせ先

仙台藝術舎/creek

〒980-0805 宮城県仙台市青葉区大手町 6-22 久光ビル 1 階

Gallery TURNAROUND 内（担当：関本、桃生）

Tel: 022-398-6413

Email: info@turn-around.jp

仙台藝術舎/creek

Facebook

Gallery TURNAROUND

<http://sg-creek.jp>

<https://www.facebook.com/sendai.creek/>

<http://turn-around.jp>